

令和3年11月定例市議会

行政報告要旨

総社市

本日、11月定例市議会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、万障お繰り合わせの上、ご出席くださいまして誠にありがとうございます。また、日頃から市議会の皆様の、新型コロナウイルス感染症対策へのご協力と、議会運営に、格別のご配慮を賜り重ねてお礼申し上げます。

さて今議会は、改選後、6名の新人を含む、22名の議員各位と迎える、新たな定例議会でございます。総社市政は新しいステージに進みます。人口減少地域をはじめ、光の当たらない部分に光を当てていく。このような気概を持って、市議会の皆様と共に、総社市を進化させ続けてまいりますので、皆様どうぞよろしく願いいたします。

1) 交通安全対策

始めに、11月4日の、通園のため横断歩道を渡っていた園児、保護者の方4名に車が突っ込むという痛ましい事故、この被害者の方々とご家族の皆様に、謹んでお見舞いを申し上げます。

この事故を受けて、先の臨時市議会では、市内全校園周辺

の交通安全対策のため、1億2千万円の補正予算を、緊急で可決していただきました。

事故発生の翌週には、校長会、園長会にて再度の通学路点検実施と危険個所の洗い出しを依頼し、徹底的な対策に取り組む覚悟を互いに確認しました。これまでに、グリーンベルトをはじめ、カーブミラー、防護柵、安全看板等の設置や、消えかかっている白線の引き直しなど、土木担当員からの要望を含め、約88箇所の報告を受けております。このうち、グリーンベルトにつきましては、現時点で調整が出来た19箇所、延長約4,500mの施工を予定しております。12月6日の週には、総社中央小学校南門付近、延長400mを着手・完了します。その他の箇所については、12月6日の週に発注、12月13日の週から着工の予定です。また、カーブミラーについては、12月中にまず9基を設置完了できるよう進めております。さらに、その他の要望箇所についても順次発注を行い、保護者や地域の皆様からのご意見をお聞きしながら、来年3月31日までには、工事執行完了100%を目指してまいります。このようにスピード感を持

った対応が出来るのは、臨時市議会を開いていただいたおかげであり、議員各位には心より感謝申し上げます。

加えて、通園通学時、子どもや保護者、見守り活動の方などが事故に遭われた場合における、総社市の支援を明記した、「総社市通学路における児童等の安全確保に関する条例」を、今議会に上程しております。別に定める規則では、事故により被害を負った、子どもや保護者、見守り活動の方に対し、死亡で50万円、2か月以上の重傷で30万円、1か月以上2か月未満の加療で10万円の見舞金の支給を定めます。

これらにより、二度と悲劇を繰り返さないよう、万全の安全対策を講じるとともに、通園通学中の事故で、心身共に深刻な傷を負った方に真摯に向き合い、総社市として最大限寄り添った支援をしてまいります。

2) 人口減少地域への施策

次に、人口についてご報告いたします。

多くの自治体で人口減少が加速する中、本市は最大人口を更新し続け、69,904人となり、いよいよ7万人到達間

近となりました。7万人に到達した暁には、7万人目の方に、お祝いとして7万円の贈呈を企画しております。その他にも、盛りだくさんの祝賀イベントで、市民の皆様と喜びを共有したいと考えております。そのための補正予算を、先議として上程させていただいておりますので、ご審議の程お願い申し上げます。

一方、市内すべての地域で人口が増加しているわけではありません。北部地域や西部地域、特に昭和地区、池田地区では、深刻な人口減少、高齢化が進んでいます。今後、民間サービスの撤退、地域の担い手不足などにより、生活の存続が懸念される中、住み慣れた地域で、安心して暮らし続けていただくために、人口減少対策のビジョンを描いてまいります。その中で、福祉分野については、これまで高齢者支援の議論の場であった、市内21カ所の小地域ケア会議を活用し、高齢者対応のみならず子どもをも含めた、全世代の福祉課題を受け止める仕組み作りを進めてまいります。この地域の仕組みを、新庁舎に設置するワンストップ窓口のカウンターパートに作り上げていきます。いよいよ始動した「ヤングケアラ

一支援」，総社流の「障がい者雇用」，国にトップランナーと認められた「ひきこもり支援」など，市の専門の相談体制と，地域の組織とが連携し，市民に徹底的に寄り添ってまいります。

この仕組みを実施することで，誰一人孤立せず孤独にもならない社会，本当の意味での全国屈指福祉先駆都市が実現すると，私は確信しています。

3) 新型コロナウイルス感染症対応

次に，新型コロナワクチン接種についてお伝えします。

2回目接種まで完了した人の割合は，人口の76.2%，接種対象者の85.7%となりました。

来月からは3回目接種が始まります。2回目接種から8か月経過の方が接種できるよう，速やかな準備を進めていきます。去る11月19日，第1弾として，来月に接種を受ける医療従事者400名へ接種券を発送いたしました。来年1月には医療従事者など2,000名の方，2月には一般の高齢者など12,000名の方が接種を迎えます。3回目も，集

団と個別を組み合わせた総社流の接種体制を構築し、吉備医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護師の皆様と一致団結しながら、市民の皆様に最速でワクチンを届けてまいります。

また、コロナ禍における子育て世帯への支援として、18歳以下の子どもたちへ5万円を給付する、総額6億2,800万円の補正予算を、本議会の先議案件として上程しております。可決されましたら、1日でも早く必要な子どもたちへ届けるべく、全力で取り組んでまいります。

4) その他

次に、市民の皆様へのお知らせが3点ございます。

1点目は、平成31年から運用中のパートナーシップ宣誓制度を拡充し、12月1日から新たにファミリーシップ制度を導入いたします。これは、パートナーシップ宣誓者の子・親などの近親者を、家族としての思いを持つ関係であると市が認めるものです。一つの家族として認められることで、暮らしやすさが向上すると期待しています。制度開始後は、関係機関へ積極的に啓発をしてまいります。

2点目は、来る12月4日、美袋駅前の拠点施設「みなぎの里大国屋」がいよいよオープンいたします。平成30年7月豪雨災害からの復興のシンボルとなるこの施設が、昭和地区活性化の拠点として大いに活用され、心の復興の強力な後押しとなることを期待しています。

最後に、今年もSOJAイルミネーション2021を開催します。12月1日、カミガツジプラザで幻想的なプロジェクションマッピングを投影し、点灯式を行いますので、皆様お誘いあわせの上お越しくください。

(8月議会での検討について)

ここで、8月議会での検討事項につきまして、その結果をご報告いたします。

萱野議員から、広報そうじゃの表紙デザインを使って、結婚などの記念品としてはどうかとのご意見をいただきました。これについては、広報そうじゃの表紙デザインを利用した記念品とするべく、昨日から申込受付を開始しております。

また岡崎議員から、死亡に伴うご遺族の負担軽減を検討し

てはどうかとのご意見をいただきました。これについては、現在、職員がコンシェルジュとしてご遺族と一緒に関係部署を周り、手続きのサポートをしております。今後は「おくやみハンドブック」を作成し、よりご遺族の心に寄り添った対応を目指してまいります。

本市は人口が増加し続けることで活気が生まれ、民間会社による住み続けたい街ランキングで、中国5県中第1位を獲得しました。我々は、この結果に甘んじることなく挑戦し続け、さらなる高みへと邁進してまいります。

本市を新たなステージへと導くため、議員の皆様、市民の皆様、より一層のご理解と、ご協力をお願い申し上げ、私からの行政報告とさせていただきます。